

「学校の新しい生活様式」が改訂（ver.8）されています。基本的な感染症対策を徹底しましょう。

1 登校前（家庭）

- 朝，各家庭で検温し，健康観察カードに記入し，保護者の印をもらい学校に持参する。
- 発熱等の風邪の症状がある場合，また，同居の家族に風邪症状が見られる場合も登校しない。その際，保護者に学校へ連絡してもらう。
- 同居の家族も毎日健康状態を確認する。

2 登下校時

- マスクを着用して登下校する。ただし，屋外で人と十分な距離（できるだけ2m（最低1m））が確保できる場合には，熱中症のリスクを考慮し，マスクを外してよい。マスクを外した場合は会話を行わない。
- 密集，密接を避ける。
- バスを利用する生徒は，マスクを着用し，可能な範囲で間隔を空けて座り，会話は控える。降車後は顔をできるだけ触らない。
- 公園等に寄り道をし，集団で飲食（水分補給は可能）をしたり，近距離でマスクを外して遊んだりしない。

3 学校到着時

- 登校時，下足棟で，検温結果及び健康状態（同居の家族の健康状態も含む）を確認してもらう。
- 教室にいったんカバンを置き，手洗いを行う。その後，授業道具等の準備を行う。

4 授業

- マスクを着用する。ただし，体育の場合，運動時は，マスクの着用は必要ない。
- 換気は，気候上可能な限り常時，2方向の対角の窓を同時に開けて（10cm～20cm）行うようにする。困難な場合はこまめに（30分に1回以上，数分間程度、窓を全開する）。
- できるだけ個人の教材教具を使用し，生徒同士での貸し借りをしない。
- 器具や用具を共用で使用する場合は，使用前後の適切な消毒や手洗いを行う。
- 次の活動は，感染対策を講じてもなお感染のリスクが高い活動である。可能な限り感染対策を行った上でリスクの低い活動から徐々に実施することを検討する。ただし，感染状況が[A]の場合には実施しない。感染状況が[B][C]の場合には，慎重に実施の可否を検討する。
 - (1) 「生徒が長時間，近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」
 - (2) 理科における「生徒同士が近距離で活動する実験や観察」
 - (3) 音楽における「室内で生徒が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」
 - (4) 美術における「生徒同士が近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動」
 - (5) 技術・家庭における「生徒同士が近距離で活動する調理実習」
 - (6) 保健体育における「生徒が密集する運動」や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」

5 給食

- 配膳係は、まず石けんで手を丁寧に洗ってからデリバリー給食を取りに行く。
- 手洗いを済ませた後、弁当の準備をする。
- マスクは、はずして袋（各自が準備）に入れる。教室のゴミ箱には捨てない。
- 向かい合わず距離をとって黙食とし、食後は速やかにマスクを着ける。

6 休憩時間

- 教室の窓は全開にして換気をする。（保体委員）
- 身体的距離（できるだけ2m（最低1m））が十分とれる場合は、マスクを外してもよい。ただし、会話をする場合はマスクを着用する。また、お互いの体が接触する遊びは行わない。

7 図書室

- 図書室の利用の前には必ず手洗いをを行う。

8 掃除

- 換気のよい状況でマスクを着用した上で行う。掃除後は必ず石けんを使って手洗いをを行う。

9 部活動

- 感染状況 [A] ～ [C] に応じて、感染リスクを低減させた上で活動を行う。
[A] 活動は平日のみとする。練習試合は行わない。
[B] 平日及び週休日（土日のいずれか）の活動も可とする。練習試合は行わない。
- 学校が独自に行う他校との練習試合、合同練習及び宿泊を伴う活動（大会、コンクール出場は除く。）は行わない。[A] [B]
- 生徒の健康・安全の確保のため、教職員等が活動状況（出欠状況）を確認し、密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い活動、向かい合って発声する活動等は実施しない。
[A] 「B」 [C]
- 運動部活動でのマスクの着用については、体育の授業における取扱いに準じる。[A] 「B」 [C]

10 消毒

- 机と椅子は、清掃の時間に、生徒が水拭きする。必要に応じて、生徒が家庭用洗剤を用いて拭き掃除を行う。
- トイレや洗面所は、生徒が家庭用洗剤を用いて通常の清掃活動の範囲で清掃する。
- 大勢がよく手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）は、1日に1回（清掃の時間に）、生徒が家庭用洗剤を用いた拭き掃除を行う。

11 その他

- ハンカチ（タオル）、水筒（量を多めに）を持参する。学校で水道水を補給してもよい。（冷水機は当面の間、使用しない。）
- 健康や心のことで悩みや不安なことがあれば、相談しやすい先生のところに行き、相談する。